

第23回 あいち境界シンポジウム



先着
800名
参加無料!

2023
8/1 TUE



第1部 基調講演者 / 第2部 コメンテーター
福和 伸夫 氏
名古屋大学名誉教授
あいち・なごや強靱化共創センター長

会場 ウィンクあいち 大ホール(名駅) 13:30開会

主催 / 愛知県土地家屋調査士会

共催 / 国土交通省中部地方整備局 協賛 / (公社)愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

後援 / 日本土地家屋調査士会連合会、名古屋法務局、愛知県、名古屋市、あいち・なごや強靱化共創センター、愛知県司法書士会、
(公社)愛知県宅地建物取引業協会、(公社)愛知建築士会、名古屋大学、中部大学、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、
建通新聞社、NHK名古屋放送局、CBCテレビ、テレビ愛知、東海ラジオ放送、FM AICHI



先着
800名
参加無料!

第23回 あいち境界シンポジウム

関東大震災から100年 どうする防災!

～命と社会をまもり 未来へつなぐ～

国難であった関東大震災から100年。
南海トラフ巨大地震が近づいているとされ、今年から、被害想定が見直されています。
国土からの視点・新たな国土強靱化基本計画、新たな国土形成計画が今夏に閣議決定。
地域からの視点・狭あい道路の解消。道路・水路の境界確定。災害に強いまちづくり。
このシンポジウムで、防災に取り組む土地家屋調査士として皆様と共に考えます。

◆第1部 基調講演者／第2部 コメンテーター



福和 伸夫 氏

名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長
1957年生まれ、名古屋市出身。建築耐震工学や地震工学に関する教育・研究の傍ら、減災活動を実践。地域の産・官・学・民がホンキになり、その総力を結集することで災害を克服するよう、減災連携研究センターの設立、減災館の建設、あいち・なごや強靱化共創センターの創設に注力された。
中央防災会議、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ主査
内閣官房ナショナル・レジリエンス懇談会委員
国土交通省国土審議会計画部会委員

時間	内容	シンポジウム タイムスケジュール
13時00分	開場	
13時30分	開会	
13時40分	第1部／基調講演「どうする防災」	
15時15分	第2部／パネルディスカッション	命と社会をまもり未来へつなぐ防災対策 ～狭あい道路解消と境界確定を考える～
16時45分	宣言	
16時50分	閉会	

◆第2部 パネルディスカッション／パネリスト紹介

大島 常生 氏

国土交通省中部地方整備局企画部 事業調整官(中部圏広域地方計画推進室 総括副室長)
切迫する巨大地震の対応やリニア開業による機会等を踏まえた国土形成の指針となる、新たな「中部圏広域地方計画」に関する事務局を担当。前職の建設部都市整備課では「災害に強いまちづくりガイドライン」更新にも携わる。

松山 明 氏

中部大学工学部建築学科 准教授
専門分野は都市計画、まちづくり、住環境整備事業等 著書(共著)「都市計画総論」、「木造密集市街地における生活道路・住宅の一体的整備に関する研究」
名古屋市空家等対策審議会委員、春日井市建築審査会委員等

森下 直樹 氏

名古屋市緑政土木局路政部 主幹(測量)
南海トラフ地震による液状化現象、津波等の被害に備え、迅速なまちの復興に寄与する道路境界の座標データ化を推進している。愛知県土地家屋調査士会、(公社)愛知県公共福祉登記土地家屋調査士協会、(一社)名古屋市測量設計業協会と災害協定を締結し災害に備えている。

第2部 コーディネーター

梅村 守

愛知県土地家屋調査士会 会長

愛知会の
マスコット
キャラクター

きょうかい君 あいちゃん

「境界杭」をモチーフにしたマスコット! 境界杭の設置を推進し、お隣同士の信頼関係を築けるように愛知県内でPR活動中。

第23回 あいち境界シンポジウム申し込み方法

※申込受付後、特に事務局から返信はありませんので、当日ご来場ください。

締切
7/21(金)
まで

ホームページから申し込み

当会ホームページにアクセスして申し込みください。



愛知土地家屋 シンポ 検索
<https://www.chosashi-aichi.or.jp/>

メールフォームから申し込み

下記QRより必要事項に回答していただき申し込みください。



<https://forms.office.com/r/ptWQI2zEKp>

FAXで申し込み

代表者の氏名、連絡先、団体名(部署、役職)、参加希望人数を明記の上、下記FAX番号までお送りください。

052-586-1222